

百人町教会週報

No. 2899

2026 年 5 月 17 日

主日礼拝

司会 坂真理子
 証詞 金井美彦
 奏楽 北村恵子
 受付 高島紗綾

前奏 Prelude

讃美 Hymn 6 (つくり主を賛美します)

聖書 Scripture マルコによる福音書 1 章 16-39 節 (新約 61 頁)

祈禱 Prayer

主の祈り A Lord's Prayer A 93-5 A

献金 Offering

献金の祈り Offering Prayer

報告 Report

証詞 Testimony 「癒し、悪霊祓い、そして宣教」

祈禱 Prayer

讃美 Hymn 401 (しもべらよ、み声きけ)

食前の祈り Prayer before meals

共食 Commensal

応答 Response

祈禱 Prayer

後奏 Postlude

* 讃美歌の時は座ったままでも結構です。

今年の聖句

「あなたに言うことは、すべての人に言うのだ。目を覚ましていなさい。」
マルコ十三の三七

今週の聖句

「万軍の主はこう言われる。わたしは、エルサレムからバビロンへ捕囚として送ったすべての者に告げる。家を建てて住み、園に果樹を植えてその実を食べなさい。」エレミヤ二九の四―五

(Zoom ID「607 777 8018」PW「roba1970」担当 石田・空閑・坂)

‡ 今週の集会

5 月 21 日 (木) 12 時から パンをさく会 赤尾泰子宅

5 月 23 日 (土) 13 時 30 分から 17 時 四谷新生教会「あなたは英霊になりますか? 植民地支配の歴史は問う」 崔善愛 (ピアニスト)、井堀哲 (弁護士) 主催: 政教分離の侵害を監視する全国会議

‡ 次週の集会

主日礼拝 (ペンテコステ) 5 月 24 日 (日) 午前 10 時 30 分

証詞 金井美彦

聖書 使徒言行録 2 章 1-21 節 讃美歌 346、521

題 「聖霊の降臨から始まったこと」

司会 前中榮子 奏楽 斐 宣恵 受付 佐藤かよ子

(予定では木田みな子が証詞であったが、24 日がペンテコステであるため、31 日予定の金井美彦と交代することとした)

‡ 消息と案内

小池常隆、5 月 13 日川崎病院入院、今週中に退院予定

石田美智代、金井光代、風邪でお休み

‡ 特別献金

小川ひとみ (結婚記念日感謝)

イースター献金

27 口 351,000 円 (予算 40 万円)

‡ 先週の集会報告

	対面(子供)	Zoom	計	席上献金	
主日礼拝	5/10	20	7	28	18,000 円

◇世話人会報告◇ 2026年5月10日(高田馬場 こんふぉーと会議室)

出席 金井牧師、石田美智代、小川ひとみ、小島悦子(司会)、佐藤かよ子、坂真理子、新谷照子(記録)

1 4月の報告と反省 ・2025年度定期総会；12日礼拝後実施。参加者30名。2 5

月の予定 ・証詞担当 17日；金井牧師 24日(ペンテコステ)；木田みな子 31

日；金井牧師 ・東京教区総会；26日(火)、27日(水) 10:30~19:00 富士見町教

会、教職議員・金井牧師、信徒議員・新谷 3 6月の予定 ・証詞担当 7日；金

井牧師 14日；金井牧師 21日；金井牧師 24日；権田一正 ・北支区 新任教

師歓迎会；15日(月) 15:00~19:00 ・金井牧師就任式；21日礼拝後 14:00~

15:00 式次第他世話人会が準備する。なお、就任式のお知らせはメールで行う。

4 会計報告 ・今年度は単式方式で会計作業を行う。・5月17日はアジアサンデー

として席上献金はアジアの為の献金とする。・アジア献金先；日韓宣教協力献金、沖縄

韓国連帯献金、カフィン(各1万円)・災害募金先；東日本大震災被災支援献金(1万

円)奥能登ボランティアセンター(3万円)・会計監査担当；高島紗綾(留任)、佐藤

宣子(新任) 5 その他 ・山崎麻里子、神奈川教区まぶね教会へ転出希望(承認

済)。 ・礼拝の終了時間厳守；12:50には礼拝を終了する

・行事の写真の収集、選定について；金井牧師が担当する。記念写真や記録に残した

い写真は金井牧師に送る。 ・氏名表記について；敬称略で氏もさんも付けない。・金

井牧師の出講予定について；聖公会神学院(火・通年)、日本聖書神学校(木・前

期)、立教大学(金・後期)、無教会研修所聖書学習講座(月1回、Zoom録画)

★教会員の個人情報保護について；宗教法人は個人情報取り扱い事業者から除外され

ているが個人情報については慎重に対応したい。ホームページの扱いは世話会で検

討した結果、今後1か月は試行期間として、パスワードをかけるなど内容によって鍵

を付けて、誰でもが見られないようにする。 ・録音、公開するのは百人町教会の基

本事項と金井牧師の証詞だけとする。 ・会員の証詞は録音、公開をしない。 ・応

答は録音、公開をしない。 ・週報は鍵付きで公開する。 ・礼拝時は週報の1ペー

ジ目のみを画面共有する。

・次回世話人会；6月14日(Zoom) 17:00~19:00

会員日誌

金井光代

私の母は、今年の1月で95歳を迎えた。訳あって今は施設に入っている。元々

が健康な人なので、普段は私より元気かもしれない。料理上手で花を育てるのが得意、そして大好きだ「どうして、花はこんなにも綺麗な色をしているんだろう」といつも言う。

そんな母だが、ここ1、2年はさすがに足も弱り始め、外では杖をつくようになった。また、お天気や気圧で、気分の優れない事も以前より増えた。

その度に「もう、だめかも」と言うが、「去年も言ってたから大丈夫よ」と、笑って返す。でも、内心しんどいだろうなあ、とも思う。

母の一番の楽しみは孫やひ孫に会うこと。そんな時はいつも体調は回復する(笑)。先日のこどもの日、たまたま俊太郎家族も加わり金井家は勢揃いし、賑やかな1日となった。彼が帰省する時はいつも母と一緒に食事をしたがる。そして、母の大好きなお刺身を買って来る。築地からの時もあれば、東武デパートの時もある。彼はうまく噛み切れない母の為に、中トロを叩き、一口の食べやすい握りにして並べる。瑞紀は隣に座り、何かと世話をやき、肉や野菜を挟みでチョキチョキと食べやすい一口に。

90歳違いのひ孫とは、絵本を一緒に読んだりお話ししたり、そんなひと時が母にとっては極上の時間となるのだ。

この日は、義母の希望で植えた我が家の檜の葉も丁度良い大きさになり、前夜煮ておいたあんこで柏餅を作り、皆に食べてもらった。義母に教えて貰った柏餅、父や義父母にも食べて貰いたかったなあ。

目まぐるしく変わる戦前戦後の時代を生き抜いた母たちには、過剰な豊かさや便利さではなく、互いに助け合いながら穏やかな日常を送れる、そんな世の中をと、ひたすら願っているのではないだろうか。

これから生きていく世界中の子供たちの何気ない日常を壊さない為に、どう声をあげていったら良いのだろう。

母とひ孫のお別れはハグで終わり、次の再会を待ち焦がれる。